安全データシート

エチル=2-ジエトキシチオホスホリルオキシ-5-メチルピラゾロ[1,5-a]ピリミジン-6-カルボキシラート

改訂日：2024-01-29 版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: エチル=2-ジエトキシチオホスホリルオキシ-5-メチルピラゾロ[1,5-a]ピリミジン-6-カルボキシラート
CB番号	: CB3397211
CAS	: 13457-18-6
同義語	: エチル=2-ジエトキシチオホスホリルオキシ-5-メチルピラゾロ[1,5-a]ピリミジン-6-カルボキシラート

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 農薬
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

H18.8.22 (環境に対する有害性についてはH18.3.31)、GHS分類マニュアル(H18.2.10 版)を使用

物理化学的危険性

火薬類　分類対象外

可燃性・引火性ガス　分類対象外

可燃性・引火性エアゾール　分類対象外

支燃性・酸化性ガス類　分類対象外

高圧ガス　分類対象外

引火性液体　分類対象外

可燃性固体　分類できない

自己反応性化学品　分類対象外

自然発火性液体　分類対象外

自然発火性固体　区分外

自己発熱性化学品　分類できない

水反応可燃性化学品　区分外

酸化性液体　分類対象外

酸化性固体　分類できない

有機過酸化物　分類対象外

金属腐食性物質　分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)　区分3

急性毒性(経皮)　分類できない

急性毒性(吸入:ガス)　分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気)　分類できない

急性毒性(吸入:粉じん)　分類できない

急性毒性(吸入:ミスト)　分類対象外

皮膚腐食性・刺激性　区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　区分2B

呼吸器感作性　分類できない

皮膚感作性　分類できない

生殖細胞変異原性　区分外

発がん性　区分外

生殖毒性　区分外

特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)　区分1(中枢神経系)

特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)　分類できない

吸引性呼吸器有害性　分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性　分類できない

水生環境慢性有害性　分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

GHS06	GHS09

注意喚起語

危険

危険有害性情報

飲み込むと有毒

眼刺激

中枢神経系の障害

注意書き

【安全対策】

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

粉じん、ヒューム、スプレーを吸入しないこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。

ばく露した場合、医師に連絡すること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

---

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: エチル=2-ジエトキシチオホスホリルオキシ-5-メチルピラゾロ[1,5-a]ピリミジン-6-カルボキシラート
分子式(分子量)	: C14H20N3O5PS (373.364)
CAS番号:	: 13457-18-6
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 化審法-　安衛法-8-(2)-1226
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: データなし
濃度又は濃度範囲	: 1

---

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。

皮膚に付着した場合

水と石鹸で洗うこと。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師に連絡すること。

---

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

激しく加熱すると燃焼する。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

作業者は適切な保護具(『8.ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

回収・中和

漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

封じ込め及び浄化方法・機材

水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

飲み込みを避けること。

眼との接触を避けること。

粉じん、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避

データなし

保管

技術的対策

データなし

混触危険物質

データなし

保管条件

特に技術的対策は必要としない。

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。-禁煙。

酸化剤から離して保管する。

冷所、換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉して保管すること。

施錠して保管すること。

容器包装材料

データなし

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会(2007年版)

未設定

ACGIH(2007年版)

未設定

設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

特別な換気要求事項はない。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状	固体
色	データなし
臭い	データなし
pH	データなし

38~40℃: NITE (Access on Oct.2008)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

9.8E-08 mm Hg: NITE (Access on Oct.2008)

データなし

データなし

データなし

4.2mg/L at 20℃: NITE (Access on Oct.2008)

3.8℃: NITE (Access on Oct.2008)

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

融点・凝固点

38~40℃: NITE (Access on Oct.2008)

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

自然発火温度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発範囲

データなし

蒸気圧

9.8E-08 mm Hg: NITE (Access on Oct.2008)

蒸気密度

データなし

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

データなし

溶解度

4.2mg/L at 20℃: NITE (Access on Oct.2008)

オクタノール・水分配係数

3.8℃: NITE (Access on Oct.2008)

分解温度

データなし

粘度

データなし

粉じん爆発下限濃度

データなし

最小発火エネルギー

データなし

体積抵抗率(導電率)

データなし

---

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

---

11. 有害性情報

急性毒性

経口

ラットにおけるLD50 = 218 mg/kg(RTECS(1996)), 151 mg/kg(JMPR852(1992))のうち、より毒性の強い値(LD50 = 151 mg/kg)を採用し、区分3とした。

経皮

データ不足のため分類できない。

吸入

吸入(ガス): GHSの定義における固体。

吸入(蒸気): データなし

吸入(粉じん): データ不足のため分類できない。

吸入(ミスト): データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性・刺激性

Priority 1において、ウサギの皮膚に対し刺激性を示さないとの記述がある(JMPR852(1992))ため区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

ウサギ眼において軽度刺激性がみられた(JMPR852(1992))ことから区分2Bとした。なおPriority 1において、ばく露状況が不明確だがヒト事故例において両目の結膜や角膜の腐食が見られたとの記述がある(JMPR852(1992))。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性:データなし 皮膚感作性:データなし

生殖細胞変異原性

マウスを用いた小核試験の結果が陰性である(JMPR852(1992))ため、技術上の指針に従い区分外とした。

発がん性

ラットに対する2年間の投与実験で、雄ラットにのみ腸管リンパ節の血管腫の増加がPriority 1の文書に示されている(JMPR852(1992))以外に発がん性を示すデータはない(マウス発がん性試験陰性)こと、およびJMPRが本物質についてヒトへの発がん性の危険性はないと結論付けている(JMPR852(1992))ことから区分外とした。

生殖毒性

Priority 1において、ラットおよびウサギを用いた実験で親動物に対する生殖・発生毒性は認められない。一方、授乳期のラットの子において体重の減少を示す記述があるが、その他の影響は示されていない(以上すべてJMPR825(1992))ことから区分外とした。

---

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性

データ不足のため分類できない。

水生環境慢性有害性

データ不足のため分類できない。

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

UNNo.

3017

ProperShippingName.

Organophosphorus pesticide, liquid, toxic, flammable

Class

6.1

国内規制

陸上規制情報

毒劇法の規制に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

特別安全対策

移送時にイエローカードの保持が必要。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

重量物を上積みしない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号

131

---

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(指定令第2条)(政令番号:12-2)

海洋汚染防止法

個品運送PP(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)

船舶安全法

毒物類・毒物

航空法

毒物類・毒物

港則法

毒物類・毒物

---

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA:国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

【2】化学物質審査規制法(化審法)https://www.env.go.jp

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)https://www.nite.go.jp/

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

免責事項：
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。